

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（販売企画担当）	・最上位機種となる新商品の販売開始とともに、それに伴う販促プロモーションを強化するため、市場が活性化される。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・季節が移り変わり、消費意欲も我慢の限界に来ている。タイムリーな企画を打ち出すなどし、買物への動機付けを積極的にを行う。
		百貨店（販売促進担当）	・10月の動きを見ると、9月までよりは徐々に上向いている。今まで買い控えていた客が、積極的に買物をしてくれるという期待も持てる。
		百貨店（売場担当）	・11月に入り百貨店そのもののイベントもあり、店舗のイベントもある。昨年と同じイベントが、過去最高の売上だったことと、今年はショートコートよりロングコートの動きが良いことなどから良くなる。また長期予報で寒い冬になるとのことなので、防寒用が徐々に売れ出している。
		スーパー（店長）	・11月1日、駅構内商業施設がリニューアルオープンするので、商圈としての集客力は確実に上がってくる。また地域周辺の活性化という点からみても期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・年末商談もうまくいっている。最近では食の安全も厳しいが、当方も12月に予定している価格改定が寄与するので、悪くなることはない。
		家電量販店（予算担当）	・昨年の冬は暖冬であり、元々のハードルがさほど高くない。また民間企業の冬季賞与も期待できる水準との報道があり、外部環境は整っている。
		乗用車販売店（統括）	・新型車の攻勢で若干、全体の需要は良くなる。
		その他小売（営業担当）	・現在、来客数は増加傾向にあり、このまま継続する。
	その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・上昇傾向はまだ続いている。新商品の導入による底上げもある。	
	旅行代理店（営業担当）	・関東・関西地区の景気動向がこちらに徐々に浸透してきて、これから良くなる。	
	美容室（経営者）	・年末年始を迎え、客の動きは良くなる。来年に向けての企画も組んでいるし、組織の改編も考えている。	
	変わらない	商店街（代表者）	・活動、空き店舗問い合わせなどから見ても、商店街として良くなる変化がみられない。また街中の子供の数が減少して高齢化に向かっており、居住者そのものの増加も期待がでない。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	・原油の高騰で商品の値上げが進んでいる。客の購買意欲が薄れるなか、値段が上がることによって、ますます販売が難しくなっていく。
		百貨店（営業担当）	・石油の値上がりに伴い生活必需品も値上げが予想され、家計の中で衣料品はカットされることが増えてくる。
		百貨店（営業担当）	・先月は残暑が厳しく秋物商材の動きだすのが遅れたが、10月に入り気温の低下とともに高単価の商材が動き出した。このまま寒くなれば同様のペースで消費が活性化される。
		百貨店（販売促進担当）	・今後も郊外大型店の価格を切り口にした販促はより強まってくると思われ、最大の商戦である年末年始含め、かなりの影響が出てくる。
		百貨店（購買担当）	・クリスマスやお正月のクリアランスを迎えるが、年々クリスマスギフトの傾向が一点豪華主義で趣味し好的なギフトの需要が高まってきており、単価も上昇して売上も増加する。また今年は猛暑で、暑い夏の年は寒い冬がやってくるという話もあり、現在やっとコートも動き出している。
		百貨店（販売担当）	・このまま気温が低下すれば、今まで買い控えられていた冬物アイテムが売上を押し上げてくれる。メーカー在庫は十分にあるので、売上増につながっていく。
スーパー（店長）		・年末を控え、お歳暮客の取り込み、顧客の囲い込みを目的に、価格競争を筆頭に競争が激しくなり、前年の売上・利益の確保が非常に難しくなる。	
スーパー（店長）		・販売点数、客単価、平均単価共に、ここ半年以上同じ状態で推移しているため、今後もこの傾向は変わらない。	
スーパー（店長）		・12月1日、1月1日に値上がりが発表されている食品・雑貨商品が多数ある。そのため、値上がり前の需要増があり、値上がり後は単価アップが若干期間続くので、現状のやや良い状態が続く。	

スーパー（管理担当）	・競合店の出店により販促強化をするものの来客数、販売量の増加がみられない。買い回りをする客が多く、固定客がつきにくくなっておりこの傾向は変わらない。	
コンビニ（エリア担当）	・まわりの状況あまり変化がなく、来客数など、このままの状態に推移する。ただし前年比では、来客数で104～105%、売上で102～103%は確保できる。	
コンビニ（エリア担当）	・売上が昨年に比べて微減傾向が続いていて、今後回復するとは思えない。	
コンビニ（エリア担当）	・今月は前半は良かったが、後半売上が落ちてきた。特に客単価が低下し、来客数の割には買い控えや安い商品の購入が目立ってきている。	
家電量販店（店長）	・原油の高騰、また気候が不安定なことなどから、様々な業界について価格への影響が出てきている。日常生活での出費増への不安のため、電気製品の購買どころではなくなる。	
家電量販店（店員）	・11月、12月にも地上デジタル放送が開始される地域があり、需要が増える要因はあるのだが、今月の状況を見ると来客数の増加は見込めず、変わらない。	
乗用車販売店（サービス担当）	・新型車は投入されるものの、高額なものばかりで、販売台数の増加は望めそうもない。	
乗用車販売店（販売担当）	・新しい商品の投入も今後はなく、現状のままできればは推移する。	
自動車備品販売店（経営者）	・来客数、販売量共に良くなるという実感は薄いだが、販促次第では何とか前期実績以上を確保できるか、という状況である。	
自動車備品販売店（店長）	・単価の動きは少し良くなっているが、反面来客数が若干減少しており変わらない。	
その他専門店〔カメラ〕（店長）	・春からの流れが一層悪くなっているため、回復するには少なくとも1年は掛かる。	
その他専門店〔書籍〕（従業員）	・近隣に新規店舗ができ、競争が今後も激化する。	
都市型ホテル（従業員）	・宿泊予約は、引き続き、団体、グループによる予約が減少しており、勢いを感じない。	
都市型ホテル（スタッフ）	・忘年会シーズンとなり、宴会・レストラン共、順調に予約が入っている。客単価も前年並の様である。	
都市型ホテル（総務担当）	・年末、年始にかけての動きが出てきてはいるものの、原油の高騰あるいは、食に対する不安感がある。プラス要因が少ないこと、不安材料があるということから変わらない。	
タクシー運転手	・12月に向けての運賃値上げの問題がうまくいっていないことや、客から不景気という声を良く聞く。	
タクシー運転手	・夜の動きは消費者の財布のひもが固くなる傾向にある。そのため飲食店等の閉店という形でも現れ、夜の営業に影響してくる。日中は観光等の動きが増加してくるが、このため24時間ベースで考えるとプラスマイナスゼロとなる。	
通信会社（社員）	・新たに提供できるサービス素材が無い。	
通信会社（企画担当）	・年末にかけて冬のキャンペーンなど仕掛けていくが、昨年と比べて変わり映えのする内容ではない。客側にも期待の持てる要因は現在特に無いので、成果に関しては楽観的にとらえづらくなっている。	
通信会社（総務担当）	・年末にかけて新商品・新サービスを導入し、新たな購買層の獲得を目指している。	
テーマパーク（業務担当）	・「秋」が無かった分、冬に盛り返したいところではあるが、長期予報では寒くなる見通しもあり、引き続き天候要因には不安がある。	
設計事務所（経営者）	・郵政の民営化のあおりを地銀及び第2地銀が受け、中小企業の資金繰りが更に圧迫されてきている。	
設計事務所（経営者）	・構造計算書偽装問題の再発を防止する目的の法改正がネックとなり、着工件数は当分の間確実に減少する。	
住宅販売会社（販売担当）	・土地、建売住宅、中古住宅の商談は増えているが、契約増にはなっていない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・販売量の低下は、今後も続くと思われる。特にこれからのシーズンはオフに入るので、やや悪くなる。また中長期にわたる見通しでも、非常に悪い。
	商店街（代表者）	・大企業や大都市では景気が良いという話だが、地方ではそんなことは全くない。客の可処分所得の増加が全く感じられず、客の財布のひもは固いままである。非常に厳しい状態が続く。

一般小売店〔酒店〕 (経営者)	・地方の小さな我が市は、好転するような材料が見あたらな い。4年生大学があるが、今年4月入学学生数は昨年の7～ 8割程度で、来年度も同様減少の厳しい状況にある。マン ション、アパートの空きが増えて客の減少が著しい。
一般小売店〔印章〕 (営業担当)	・来月から年賀状印刷時期に入るが、郵政民営化は街の民間 印刷業者にとって大きく不利になる。
百貨店(売場担当)	・売場の売上不振が問屋、工場に影響が出始めている。仕入 量の削減が生産量の削減につながるものが常態化しており、 商品が入ってこない状況が続く。
百貨店(売場担当)	・年内は暖冬の予想であり、防寒商品の本格需要の11月中旬 以降以降になる。また商業地域としての地盤沈下に歯止めが 掛かっておらず、空き店舗も徐々に増加しているため、地域 としての集客力も低下傾向にある。
スーパー(店長)	・来月競合店の出店予定があり、価格を下げてくるため単価 のダウン傾向がこの先も続く。
スーパー(店長)	・原油高騰に伴い、消費の縮小と食品の相次ぐ値上げによ り、景気の上向きは見込めない。
スーパー(総務担当)	・単価上昇で販売点数が伸びず、少量パック・バラ売り・量 目の変更等を余儀なくされているため、クリスマス・年末商 戦も前年に比べ小粒になる。
スーパー(財務担当)	・今後更に仕入価格の上昇が見込まれ、消費者の低価格志向 が強まる。
スーパー(販売担当)	・食料品の値上げに加え、紙等の生活用品も値上げになるよ うなので、景気はやや悪くなる。
コンビニ(エリア担 当)	・小麦粉関連の商品が値上げをするため、売上が減少する。
衣料品専門店(販売促 進担当)	・本当に必要な時にしか購入しない客や、バーゲン待ちの客 が増えている。特にカード比率が高くなっているのが気掛かり である。
家電量販店(店長)	・原油や諸原料の高騰により食品を始め市場価格が徐々に上 がりつつあり、耐久消費材への出費を各個人が抑える。
乗用車販売店(経営 者)	・当面原油の高騰は続くようであるし、これが非常に大きく 影響する。また、モーターショーの効果も例年だと幾らかは 望めるが、この燃料高騰の中では期待しにくい。
乗用車販売店(営業担 当)	・新規客の減少に加え、既納客の台替えの伸び悩みで大変苦 しい状況が続いている。量販車の発売を控えているので、既 納客への拡販活動に一層力を入れているが、成果がどれだけ 上がるか、予断を許さない。
乗用車販売店(店長)	・各社とも新型車を投入し弊社でも新型車のお披露目の話題 づくりで盛り上げたいが、今一つパツとしない。前年に対し 販売台数も若干伸び悩んでいる。
乗用車販売店(統括)	・これからボーナスシーズンとなるが、客からはその話よ り、倒産や失業についての話題の方が多し。今までは口では 景気が悪いと言いながらもそうでもない事の方が多かった が、今は現実にそのような雰囲気漂っており、買い控えが 懸念される。実際単価の安い方へ流れている。
住関連専門店(広告企 画担当)	・とにかく安く、という客が非常に増え、価格チェックも厳 しい。この傾向は当面続く。
その他専門店〔布地〕 (経営者)	・地域差があるとは思いますが、非常に客の財布のひもが固い。 金回りが悪いということではないか。
その他専門店〔スポー ツ〕(経営企画)	・初任給は上昇傾向にあるが、中高年の給料は抑えられてい る。そのような中、値上げを発表しているメーカーが多い。 インフレ下の不景気になりそう。
一般レストラン(店 長)	・「食欲の秋、忘年会シーズン」と見通しは明るいはずだ が、ここまで夜の集客が悪いと期待できない。
一般レストラン(店 長)	・まだまだ原油高の影響が止まらないので、車による来客の 多い当店は、このままでは客足がどんどん遠のいていく。
観光型ホテル(スタッ フ)	・温暖化の影響で、紅葉の時期がずれてしまい、来客数が増 加しない。
観光型ホテル(経理総 務担当)	・11～12月の予約状況も、週末は入っているものの、平日は 空いている日が多い。忘年会の予約も、現段階では、昨年に 比べて、件数、予算共に減少している。
都市型ホテル(経営 者)	・前年同期と比較し、予約率が落ちている。
通信会社(管理担当)	・販売システムの変更に伴い、様子見層が多くなり、機種買 換え期間が長くなる。
テーマパーク(広報担 当)	・昨年は異常な暖冬で来客数が大幅増となった。今年も同じ 程度の暖冬でないかと前年割れとなる。

	設計事務所（経営者）	・受注減の影響が年内までは続き、また年内年初は工事が冷え込むため悪化する。	
	設計事務所（経営者）	・建築確認申請業務の円滑化が急激に改善される見込みがないことに加え、建設コストが上昇しており、業務が停滞する。	
	住宅販売会社（従業員）	・原材料も徐々に上昇傾向にあったが、更なる上昇が余儀なくされてきているため、利益の圧迫が更に続く。	
悪くなる	商店街（代表者）	・これからの天候にも左右されるが、冬だからといって移動は車が大半になっているので、価格の張る重衣料に期待が持てない。	
	コンビニ（エリア担当）	・まず、来客数は回復する兆しはなく、客単価も下げてきており、非常に厳しい状況になっている。原因は、競合店や異業種の出店によるものである。	
	衣料品専門店（経営者）	・郊外の大型店の影響が当分続く。	
	スナック（経営者）	・夏の猛暑から引き続いて、悪いままである。飲酒運転の取締りも厳しく、納品が少ないので、酒屋やメーカーがこのような飲食店を相手にしなくなってきている。規制緩和でコンビニで手軽に冷えたビールが買えるので、皆それを買って帰って家で飲む傾向がますます強まる。	
	通信会社（通信事業担当）	・法人ユーザーなどで、回線の見直しを検討した結果、電話やFAXなどとセットで割引を行っている、大手通信事業者への乗換えが増えている。こちらはケーブルテレビとセットでの割引が中心になるので、企業ユーザーなどへのアピール度は低く、苦戦が続く。	
	美容室（経営者）	・毎年10～11月の売上で、年末年始の売上の予想がつく。今年はあまりに悪いので、この先不安である。	
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・11月から製造部門の人員不足が深刻化するほど生産が増加している。1月には、10%以上の人員不足となる見通しで、その先は、更に人員不足が深刻化するほどである。
	やや良くなる	輸送業（統括）	・来年からの業務も今月に決まり、収入の増が見込める。
	変わらない	化学工業（総務担当）	・原燃料、物流費の高騰が続くが、当社はまだ価格転嫁できる余地がある。
		鉄鋼業（総務担当）	・鋼材需要は、国内、輸出とも概しておう盛な状況が続いている。引き続きフル操業を継続していく見通しである。
		鉄鋼業（総務担当）	・現状の景気は続くと思われるが、為替安やガソリン等エネルギー関連費用の上昇が景気の懸念材料となる。
		金属製品製造業（総務担当）	・原材料価格が上がる可能性は否定できないが、需要は強く、フル操業での対応は今後も続く。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・長期にわたり国内市場の悪化が続き、売上は当面厳しい状態が続く。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・受注は見込めるものの、販売価格の低下が想定される。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・自動車関連は欧米、国内共に安定した受注の予想である。年末商戦に向けて、家電・携帯関連もますますの受注が見込まれるものの、発注元は取り上げて強気の生産計画ではなさそうである。
		通信業（営業企画担当）	・諸物価の値上がり問題など、金融や製造系以外の業種は好況と言えない。引き合いなどは活発とは言えず、プレゼン機会がなかなか得られないといった状態が続く。
		金融業（営業担当）	・新山口駅周辺では、東京資本の不動産業が来て売買という話も出ているが、その他では、不動産、建設、工事の話が全くない。地方経済にとっては、まだまだ厳しい状況が続く。
		金融業（業界情報担当）	・米国経済の鈍化から米国向けの需要はやや伸び悩んできたが、欧州・アジア圏では引き続き需要好調で、当面は高水準の受注が続く。
		広告代理店（営業担当）	・この2～3か月良かったのは、求人広告の出稿が前年の120%だったのが大きい。しかし、求人の出稿元はほとんどが派遣会社であり、企業そのものは低迷 リストラ 契約社員移行の図式である。したがって、見通しは明るくない。
		会計事務所（職員）	・販売業関連はおおむね売上が逡巡傾向で、現状維持がやっとの状態である。ガソリン価格の値上げ等で流通コストがアップすると、今後の経営環境は厳しくなる。
		その他サービス業〔清掃具レンタル〕（情報管理担当）	・健康目的等の商品の動きは良いが、それ以外の厳しい状況は変わらない。

	やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・取引先の大手委託メーカーが商品の価格を値上げしてきている。その影響で、当社も数か月先には価格の変動をせざるを得ない状況である。また食品関係は、現在品質表示等が大きく取り上げられており、消費者や購入業者の目がいよいよ厳しくなっていく。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・10月の生産水準は高いが、工事案件も一段落するため、生産量は減少する。ただし上期水準よりは高くなる見込みであり、また年末ごろより大型案件の生産に着手する予定である。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・政治状況が不透明、原油高・株価下落もあるので年明け以降の電機業界や自動車業界の需要減退が予想されるため、素材需要の先行きも厳しくなる。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注量・生産高共に横ばいの状態が続く。その中で石油製品・原材料・諸物価の上昇傾向や、人件費・社会保険料の負担増など利益圧迫要因が多く、厳しい状況が続くと思われ、先行きが懸念される。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・原油の値上がりや特に中国の人件費等のアップにより、どの素材や部品についても値上げラッシュが続いている現状に加え、それを商品価格に転嫁できない。
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	職業安定所（雇用開発担当）	・8～9月の求職者の動向を見ると、前年比で減少傾向に推移しており、求人のプラス要因と相まって、求職者を取り巻く雇用環境は引き続き改善されていく。
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（担当者）	・人材の不足感が相変わらず企業側に強い。
		求人情報誌製作会社（支社長）	・年末に向かって、来期の4月以降の体制に向けての企業側の求人が増加する。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・引き続き人材確保難は続くと思われる。
		職業安定所（職員）	・製造業を中心に、原油価格など原材料費高騰の影響が多少あるものの、今のところ雇用面に関しては特に影響はなく、今の傾向が続く。
		職業安定所（職員）	・求人の内容は正規職員以外の募集が多く、労働者の生活が安定しないため個人消費が上がらない。そのため景気も変わらない。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・求人数は増加しているが、職種が限られている。また、正社員に比べ派遣社員の求人も増加している。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・一向に上向かない景気の影響で、建設業を始め多くの業種で事業廃止となる事例が見られ、求人面でも都会地とのギャップが際立っている。また、地元のクレジット会社においても、グレーゾーン金利廃止の影響で、大幅な人員整理の動きが進んでいる。	
	悪くなる	-	-